

## 『市の花』について

新風会  
多比良和伸

**問** 砂川市の花は『すずらん』ですが、全くと言っていいほど見ることができません。市の花の意義と今後の取組みについて伺います。

**答** 昭和62年にアメニティタウンとして、市民意識の高揚につながるために普及に努めてきましたが、管理の難しさにより、大きく広がる事なく、わずかしが残っています。しかし、今後もシンボルとして活用していきます。

**問** 現在、様々な団体等による花への取組みがありますが、『市の花』として、新たに増設する考えについて伺います。

**答** 今後、市民の中で砂川市としてこの花がふさわしいという気運が高まれば、それを妨げるものはありません。むしろ市民の中から声として、活動として盛り上がることを期待します。

## 市立病院待ち時間の有効利用について

**問** メール等を使った待ち時間の

有効利用サービスを提供するとされていましたが、具体的な内容と開始時期について伺います。

**答** ITを活用した『診察案内表示システム』ですが、具体的には、診察まであと何人の方が待っているのかを知ることができる『診察順番検索』と、診察の順番が近くなるメールで知らせてくれる『携帯メール呼び出し』と院外にいなから診察の待ち状況が確認できる『携帯からの診察状況確認』という3つのサービスを考えています。開始時期は、順調にいけば10月を予定しています。



市の花「すずらん」

## 市役所庁舎の建替えについて

市民の声  
小黒 弘

**問** 市役所庁舎は昭和45年に完成43年が経過し、鉄筋コンクリートの法定耐用年数の50年に近づいています。そのため、老朽化が目立ってきました。

また、「砂川市耐震改修促進計画」の耐震化に努める施設で、市役所庁舎は優先度1にされるほど耐震化が不十分なうえ、洪水時の災害本部も設置できません。

そもそも、市役所は市民の役に立つ所であるのに、窓口の分散化も見られるばかりか、エレベーターもなく、公共施設に求められるバリアフリー対応も不十分です。早急に建替えに向けた取組みが必要で

す。建替えるのであれば中心市街地に建てるべきだと思えますが、市長の考えを伺います。

**答** 庁舎の改築の考え方として、財政的には厳しい問題があります。しかし、防災の面から考えますと緊急的に措置しなければならぬのではないかと考えています。

現状では外壁等の部分で、かなり危険な状態であると認識しています。計画的な修繕も考えていますが、庁舎を耐震改修すると、建物の耐力度がかなり低く、補強するには今の庁舎のスペースでは難しいところがあります。

耐震化の部分だけで判断すると基本的には庁舎は建替えという観点になります。また、庁舎の建設はどのような形で取組むのか、どのような期間が必要なのかなど、内部ではすでに協議をしなければならぬ時期に来ていると思えます。



市庁舎（南西側）

## 砂川市協働の

### まちづくり指針について

市民クラブ

増山 裕司

**問** 砂川市協働のまちづくり指針が策定されましたが、具体策について伺います。

**答** 「砂川市協働のまちづくり指針策定協議会」で5つの柱をまとめました。

①「啓発活動の推進」では、後援会やフォーラムの開催、市民活動の紹介や転入者の町内会等への加入案内、広報すながわやホームページ等による情報発信の取組み。

②「人材育成の推進」では、市民活動入門講座の開催、体験学習の実施、市民団体活動に市職員が研修に参加する地域活動交流研修事業の取組み。

③「市民と市の相互理解の推進」では、国や道からの支援情報の提供、協働のまちづくり懇談会等の開催、各種委員会や協議会へ参画しやすい機会をつくる取組み。

④「体制づくりと支援策の推進」では、市の全庁的な協働のまちづくり推進会議の活用や、高齢者を地域で見守る・支えるしくみづく

り、地域コミュニティ活動支援事業補助金などの取組み。

⑤「取組みの評価や見直しの推進」では、協働の取組みを定期的に評価し、必要に応じて指針の見直しを行う。

**問** 仮称、協働のまちづくり条例を制定する考えについて伺います。

**答** 協働のまちづくりの考え方を市民に広げ信頼関係を築き、お互いに知恵を出し合い、力を結集して着実に進めて機運を高めることが重要です。そのうえで、条例の制定についても視野に考えていきます。



## 市内小中学校の

### 安全対策について

公明党

辻 勲

**問** 市内中学校の柔道授業の状況と安全対策について。

**答** 道内で柔道を選択した学校において、骨折などの事故が発生したとの報道がありました。砂川市では、事故や怪我については発生していないところです。

授業を実施するにあたっては、準備運動の徹底や、用具の整備や点検についても、指導を徹底しており、女子生徒に対する指導は、個々の生徒の習熟度を把握し、きめ細かい指導に努めています。

教育委員会は、今後も事故等に充分配慮し、授業を安全で効果的に実施する指導をしていきます。

**問** 市内における小中学校の通学路の点検実施等、対策について。

**答** 平成24年8月に市教委、学校保護者、警察署、道路管理者による通学路の緊急合同点検を実施し、様々な提案を頂きました。

大型車輛の交通量が多い3箇所、交通量の多い変則交差点1箇所、車道が狭い急カーブで交通量

の多い1箇所の5箇所に、警察署から、いずれの箇所にも何らかの対策が必要であるとの指導・助言を頂き、5箇所全てに警戒看板を設置し、安全対策を実施しています。

### 砂川市の 防災会議について

**問** 砂川市の防災会議に女性を登用することについて。

**答** 今年度開催予定の砂川市防災会議で、避難所の運営方法などに女性の視点等を取り入れた防災計画を策定するため、女性市職員を任命することを検討しています。



点検実施された学校通学路